

## 市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	全身麻酔下食道扁平上皮癌 ESD 治療時の彎曲喉頭鏡での咽頭観察の有用性
当院の研究責任者	所 属：消化器肝臓病センター・消化器内科 責任者：北村陽子
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>背景</p> <p>Field cancerization により食道癌と頭頸部癌の合併頻度は高い。画像強調内視鏡は頭頸部癌の発見に貢献し、病変指摘が増えている。咽頭観察におけるバルサルバ法の有用性が報告されているが、喉頭挙上には個人差があり、高危険群である頭頸部癌放射線治療後では、放射線の影響で咽頭観察が困難なことを経験する。2024 年 8 月より手術室での内視鏡治療枠を確保できたため、食道 ESD はなるべく手術室で行うこととし、可能な限り耳鼻科医協力のもと治療前に佐藤式彎曲喉頭鏡で喉頭挙上を行い、咽頭観察を行うこととした。</p> <p>目的</p> <p>食道癌 ESD 前に彎曲喉頭鏡で咽頭観察を行う有効性を評価すること。</p>
調査データの該当期間	2024 年 8 月から 2025 年 11 月
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	当院で手術室で食道癌治療を行った症例の内視鏡画像・病理組織画像や臨床データを後方視的に検討する。
試料・情報の 他の機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	匿名化し個人を同定できないように行う。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先	TEL : 0742-24-1251 担当者 : 消化器肝臓病センター・消化器内科 北村陽子
備考	